

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2020年 5月 28日

私たちの声と行動で 被爆者とともに 核兵器のない世界を

★ 雨にもひるまず・・・幹線コース 千歳平和行進 ★



5月27日、恵庭原水協から引き継いで、千歳原水協は千歳市役所駐車場前でスタンディング。佐藤仁千歳原水協副会長はじめ3人がスピーチ、途中から雨が強くなったのですが、ひるむことなく決行しました。行動に先立ち11時30分から千歳市を訪問し、自治体賛同募金に協力いただきました。議会事務局で対応した島津次長は「核兵器禁止への粘り強い活動に敬意を表します」と。しっかり濡れた横断幕は乾燥させて28日苫小牧原水協に引き継ぎます。

(千歳原水協事務局長/佐々木金見)

★道内網の目・日本海南コース 元気にスタート★

5月27日日本海南コースは、小樽から後志管内、檜山管内、北斗市を経由して6月6日函館ゴールめざして元気にスタートしました。

午前中に兼岩龍二小樽原水協代表委員(小樽商大名誉教授)はじめ10人で自治体訪問。小樽市副市長の対応は初めてのことです。隣の会議室では、特別給付金の事務作業が行われていました。

夕方は5時半から、都通りアーケードでスタンディング行動、各団体から25人が参加し、7人の弁士がリレートークしました。

民商副会長の清水武さんが訴えている時に横断歩道で信号待ちしていた男性がしっかりと聞いて、戻ってきてヒバクシャ国際署名にサイン。「この署名は秋の国連総会に提出します」と言うと言っていました。

新婦人から8人が参加し、「お隣さん、サークルの仲間に、街頭でも訴えて、ついにやった禁止条約!」「署名や世界大会続けてきたからだね」「でも日本政府は条約にサインしていない」とマイクを回して一言リレートークしました。

生活と健康を守る会から参加した5人は『日本政府は核兵器禁止条約に参加せよ!』横断幕をしっかりと掲げました(写真・右)

